

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

吉無田高原を中心とした田代地区の自然環境を保全するとともに、地域の生物多様性の保全と創出、自然資源をいかした観光交流を推進する。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に◎)	SDGsに関する重点的な取組み	指標
◎環境 ○社会 ○経済	・吉無田高原を中心とした田代地区の自然環境の保全 ・耕作放棄地等の未利用地の安全管理と積極的利用	2024年度までに、現在管理している耕作放棄地(約10,000㎡)を耕地化し、継続する。
○環境 ◎社会 ○経済	・秩序ある地域づくりに向けた町、団体、関係機関が連携した各種取り組みの推進	2024年度までに、耕作放棄地解消作業への参加・協力者を、年間のべ120人以上に拡大する。
○環境 ○社会 ◎経済	・自然環境をいかした地域活性化、及び観光交流の推進 ・地域の農産品や林産品の積極的なPRと活用、販売の推進	2024年度までに、MTB国際イベントを誘致する。 2024年度までに、地場産品を使った商品を3品以上開発する。

<パートナーシップ>

「御船町地域連携保全活動計画」を推進するにあたり、御船町・特定非営利活動法人愛郷吉無田・御船町地域おこし協力隊・御船町区長会・七滝土地改良区・吉無田土地利用組合による「御船町地域連携保全活動協議会」を設置し、活動計画の実施状況を定期的に報告するとともに、情報を共有している。